

令和7年度

日本ボクシング連盟

事業報告書

目次

目次	P 2
1 はじめに	P 3
2 総会・理事会の開催状況	P 5
3 全国大会（競技会）運営事業	P 8
1) 日本選手権大会その他の競技大会の開催	
2) 競技規則の制定	
3) 審判員及び指導者（コーチ）の資格認定	
4) 講習会の開催	
5) アマチュアボクシングの安全確保・健康管理等の実施	
6) 競技用品販売店の指定	
4 選手強化事業	P26
1) 選手の強化・育成	
2) オリンピック競技大会等の国際競技大会への代表参加者の派遣	
3) アマチュアボクシングに関する調査研究	
4) 国際審判員及び指導者（コーチ）の育成	
5 関係スポーツ団体への加盟及び協力	P33
6 アマチュア規定の制定及びアマチュア資格認定	P34
7 法人の運営体制の充実を図るための取組	P34
8 公益法人内部における規範	P35
9 附属明細書	P37

はじめに

昨年（2025年）2月より専務理事代行に就任しました、林田豊です。

2025年の公益社団法人日本ボクシング連盟（日連）の1年を振り返りたいと思います。

まず、本連盟にとって喜ばしく大きな出来事として、仲間達也会長がアマチュアボクシングにおける国際統括団体であるアジアンボクシング(AB)並びにワールドボクシング(WB)の役員に就任されました。アジアンボクシングでは2025年8月に、タイ・バンコクにて第1回選挙総会が開催されました。

その選挙総会にて、仲間達也会長が理事に選任され、「透明性・説明責任・アスリート中心の発展」を掲げ、ワールドボクシング及び各国連盟と連携しながら、大陸ボクシングの未来を築く方針を示されました。ワールドボクシングでは、2025年11月にイタリア共和国ローマで開催された総会において、各国からの支持をいただき、ワールドボクシング理事に選任されました。

ワールドボクシングは、オリンピックボクシングの国際統括団体として、ボクシング競技の発展と透明性の高い大会運営を推進する組織で、その意思決定を担う理事の就任は、日本ボクシング界にとって大きな意義を持つものとなりました。当連盟といたしましても、世界に開かれたボクシングの普及、強化並びに国際競技力の向上に向けて、仲間達也会長と共に取り組んでまいりたいと思います。

強化体制に関しては、積極的な国際大会への派遣を進め、数多くの大会で結果を残すことができました。

1. アジアンボクシングU19・U17選手権大会（ヨルダン・アンマン）金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル2個
2. タイオープンボクシング選手権大会（タイ・バンコク）銀メダル1個、銅メダル1個
3. ワールドボクシングチャレンジグランプリ ウースチーナド ラベム 2025（チェコ共和国）金メダル3個、銀メダル3個、銅メダル2個
4. ワールドボクシングカップアスタナ 2025（カザフスタン共和国）銀メダル1個、銅メダル2個
5. ASIAN BOXING U19&U22 チャンピオンシップス バンコク 2025（タイ・バンコク）金メダル2個、銅メダル3個
6. ワールドボクシングカップ リバプール2025（イギリス・リバプール）銀メダル1個、銅メダル2個
7. 第3回アジアユースゲームズ（バーレーン王国）銀メダル1個、銅メダル2個
8. WBカップファイナルズニューデリー（インド・ニューデリー）金メダル1個、銅メダル2個
9. U19 ワールドボクシングフューチャーズカップバンコク 2026（タイ・バンコク）金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル1個
10. アジアンボクシング選手権大会 2026（モンゴル・ウランバートル）金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル2個を獲得し、各世代での競技力向上の結果を残すことができました。

今後も一貫した方針で男女、全年齢カテゴリーにわたる強化を継続していきたいと思います。

普及体制に関しては、マスボクシング競技にて全日本を中心として多くのイベントが開催され、「競技としてのマスボクシング」が定着しています。また、日本パラスポーツ協会への加入を目的に、パラボクシング推進委員会として組織化しました。パラ競技として広く認識してもらえるように取り組みた

いと思います。

今年アジア大会が愛知県西尾市総合体育館で開催されます。出場選手のメダル獲得と大会運営の成功に向けて、本連盟一丸となって取り組んでいきます。そして2028年のLAオリンピックまで継続し、悲願として掲げた「金メダル2つ」を達成できるように、役員一同、頑張っていきたいと思います。

関係者の皆様の温かいご支援の程、何卒よろしく願いいたします。

2026年5月5日

公益社団法人 日本ボクシング連盟専務理事代行 林田豊

1 総会・理事会決議事項

1) 総会

ア令和7年6月29日(日)

(ア)審議・決議事項

a 令和6年度決算報告、事業報告及び監事監査報告について

(イ)報告事項

a)JSPO 評議委員推薦について

b 連盟事業各所手続について

c 全日本マスコクシング選手権大会の開催について

d (公社)日本ボクシング連盟における次世代判定システム開発の調査報告について

イ令和7年8月24日(日)

(ア)審議・決議事項

a 定款・規約等文言”IBA”から”WB”への変更について

(イ)報告事項

a 昨今続いているボクシング事故の件並びに国際大会の成果について

ウ令和8年 3月 15日(日)

(ア)審議・決議事項

a 令和8年度事業計画書(案)について

b 令和8年度収支予算書(案)について

c 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類(案)について

d 令和8年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容についての記載した書類(案)について

e 公益認定のための「定款」について令和6年12月改訂に伴う定款変更(案) について

(イ)報告事項

a 仲間達也会長 WB 理事就任について

b 東京科学大学との医療・研究連携覚書について

c 事故報告書提出義務と連盟登録時の誓約書について

d100周年記念事業について

e パラボクシング愛好会の設置について

f 令和7年度強化事業について

2) 理事会

ア令和7年5月22日(木)

(ア)審議・決議事項

a 定款の一部改正案について

b 公認リングに関する規定改正案について

c 日連主催合宿、遠征の自己負担金改定案について

d パラボクシング推進委員会規則案及びパラボクシング推進委員案について

(イ)報告事項

a (公社) 日本ボクシング連盟における次世代判定システム開発の調査報告について

b UJ 年齢引上げ案に関しての各委員会合同協議内容について

c ウランバートルカップ選手派遣について令和7年4月15日書面決議済み

d 2025 全日本選手権大会日連推薦選手の階級選択ができることについて

令和7年5月6日書面決議済み

e 2025 タイオープン派遣選手について令和7年5月18日書面決議済み

f 2025WB チェコ派遣選手について令和7年5月18日書面決議済み

g 令和7年度 JSC トップアスリート助成金受給対象候補者1枠について

令和7年5月15日書面決議済み

h 令和7年度 JSC ユースアスリート助成金受給対象候補者5枠について

令和7年5月15日書面決議済み

i アジア競技大会の準備状況について

j アジアンボクシング理事会の階級削減について

k NTC の稼働率について

イ 令和7年6月3日(火)

(ア)審議・決議事項

a 令和6年度決算報告について

b 令和6年度事業報告について

c 監事報告及び総会資料提出について

d 優秀選手自己負担派遣について

(イ)報告事項

a JSPO 評議員推薦について

b 連盟強化事業各所手続きについて

c 2025 年度全日本選手権大会の日連推薦(女子 57 kg 選手の選択不可から選択可)について
(令和7年5月26日 書面決議中)

d 2026 愛知アジア大会のスポーツマネージャーについて

ウ 令和7年7月29日(火)

(ア)審議・決議事項

a 定款改訂 WB 報告に関する臨時総会開催及び招集通知について

b 医事ハンドブック改訂について

c 愛知アジア大会組織委員会スポーツマネージャーの推薦について

d 全日本マスボクシング大会開催地順番について

e 国際大会派遣基準変更(レジェンド派遣)について

f 業務執行規程改訂(案)について

(イ)報告事項

a WB カップカザフスタン 2025 派遣選手について(令和7年6月5日書面決議済)

b 令和7年度定時総会開催について(令和7年6月12日書面決議済)

c 2025 全日本ボクシング選手権大会実施要項について(令和7年6月16日書面決議済)

- dLA28 に向けた助成金申請に関する若谷選手の推薦について（令和7年6月19日書面決議済）
- eLA28 に向けた助成金申請に関する篠原選手の推薦について（令和7年6月19日書面決議済）
- fU19&U22 アジア選手権大会派遣選手について（令和7年6月25日書面決議済）
- g アジアユースゲーム 2025（U17）派遣選手について（令和7年6月25日書面決議済）
- h2025 全日本選手権大会男女日連推薦選手について（令和7年7月7日書面決議済）
- i 日連主催大会に関する、競技役員謝金、日当の改定について
- j ワールドボクシングにおける性別検査について

エ令和7年10月23日（木）

(ア)審議・決議事項

- a 日連主催大会に関する、競技運営役員、審判員謝金・日当の改定について
- b 事故報告書提出義務と連盟登録時の誓約書について
- c 連盟強化事業各所手続きについて
- d 競技規則改正について
- eWB 階級移行に伴うジュニア大会階級変更について
- f 100周年記念事業関連委員会設立について
- g 長野県高校総体計量不正に係る関係者の処分案について

(イ)報告事項

- aJOC 選手強化費の詳細と現状について
- b バンテージ受益者負担について
- c 仲間会長 YouTube での情報発信について
- d ボックスオフ開催について
- e アジアユースゲームズ 2025（U17）派遣選手について（令和7年8月18日書面決議済）
- f 医事ハンドブック改正について（令和7年8月29日書面決議済）
- g 2025 全日本選手権大会日連推薦選手追加について（令和7年9月3日書面決議済）
- h 日本連盟スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況自己説明について
（令和7年9月16日書面決議済）
- i 令和7年度全国高校選抜大会の日連推薦選手について（令和7年10月11日書面決議済）
- j 日連事務局、清水裕美様の紹介について

オ令和8年1月13日（火）

(ア)審議・決議事項

- a パラボクシング愛好会の設置について
- b2025 プロ・アマ合同年間表彰推薦について
- c100周年記念事業について
- d あおもり国スポ記念大会ボクシング競技会の日連共催について
- e 令和8年度コーチ設置事業について

(イ)報告事項

- a 感染症検査について
- bB 型肝炎ワクチンについて
- cWB カップファイナル ニューデリー派遣選手について（令和7年10月29日書面決議済）
- d 東京科学大学との医療・研究連携覚書について

カ令和 8 年 2 月 23 日（月）

(ア)審議・決議事項

- a パラボクシング愛好会（仮称）規約と入会申込書について
- b マス競技規則改正について
- c 令和 8 年度事業計画書(案)について
- d 令和 8 年度収支予算書(案)について
- e 令和 8 年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類(案)について
- f 令和 8 年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容について記載した書類(案)について
- g 日本連盟主催代表合宿の取組みについて
- h 公益認定のための「定款」について令和 6 年 12 月改訂に伴う定款変更（案）について

(イ)報告事項

- a 令和 7 年度全国高校ボクシング選抜大会日連推薦選手について
（令和 8 年 1 月 19 日書面決議済）
- b 2026 U19 フューチャーズカップ派遣選手について（令和 8 年 1 月 26 日書面決議済）
- c スポーツ科学委員会の業務執行体制について（令和 8 年 1 月 26 日書面決議済）
- d 次世代合宿派遣選手について（令和 8 年 1 月 26 日書面決議済）
- e 令和 7 年度第 2 回臨時総会開催について令和 8 年 2 月 24 日書面決議済）

キ令和 8 年 3 月 26 日（木）

(ア)審議・決議事項

- a 役員選考委員と推薦書類の送付について
- b 役員選考資料について（送付文、推薦書、自己推薦書）
- c 競技規則改正について
- d 審判規程改正について
- e 審判執行部規程について
- f 福岡県連盟の事案について
- g WB ブラジル大会派遣選手案について
- h 第 20 回アジア競技大会日本代表内定選手について
- i U17 アジア選手権大会派遣選手案について

(イ)報告事項

- a 令和 8 年度日連臨時総会開催日程（案）について（令和 8 年 2 月 24 日書面決議済）
- b マスボクシング競技規則第 6 条ファウル（3）改正案について（令和 8 年 3 月 2 日書面決議済）
- c アジアエリート選手権大会派遣選手案について（令和 8 年 3 月 15 日書面決議済）
- d 2025 年度男女シニアランキングについて

2 全国大会（競技会）運営事業

1) 日本選手権大会その他の競技大会の開催

アマチュアボクシングの普及振興を図るためにアマチュアボクシングの国内の全国大会を

開催している。予選は各都道府県連盟・各ブロック連盟が実施している。競技ルールは公益社団法人日本ボクシング連盟競技規則（以下、「競技規則」という。）による。大会に参加するには選手登録規程に基づいて選手登録が必要である。

主に小学生中学生の大会、高校生の大会、大学生の大会、社会人の大会、女子の大会を実施している。実施している主な大会は以下の通り。

ア 定時総会

実施日：令和7年6月29日（日）

実施場所：味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

イ 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和7年7月28日（月）～8月3日（日）

実施場所：玉野市総合体育館（レクレセンター）

ウ 全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月3日（月）～5日（火）

実施場所：兵庫県立武道館

エ 全日本大学ボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月4日（月）

実施場所：兵庫県立武道館

オ 第1回臨時総会

実施日：令和7年8月24日（日）

実施場所：日本ボクシング連盟 事務局（JOSC 7階 706）

カ 国民スポーツ大会

実施日：2025年9月29日（月）から10月3日（金）

実施場所：東近江市能登川アリーナ

キ 全日本マスボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月1日(土)～3日(月)

実施場所：安八町総合体育館

ク全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月25日(火)～11月30日(日)

実施場所：ひがしんアリーナ(墨田区総合体育館)

ケ全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日(水)～12月21日(日)

実施場所：西尾市総合体育館

コ全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日(水)～12月21日(日)

実施場所：西尾市総合体育館

サ第2回臨時総会

実施日：令和8年3月15日(日)

実施場所：BIZ新宿(新宿区立産業会館)

シ全国高校選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ

実施日：令和8年3月24日(火)～29日(日)

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

ス全日本UJフレッシュボクシング大会

実施日：令和8年3月24日(火)～28日(土)

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

2) 競技規則の制定

アマチュアボクシング競技の公平性・安全性を確保するために、国内で開催されるアマチュアボクシング競技大会・マスボクシング競技大会に適用される競技規則を制定している。

WORLD BOXING (WB) のテクニカルルールおよびコンペティションルールに基づい

て国内の状況を踏まえて規程の改廃が行われる。競技規則の改廃は当法人審判部が原案を作成し、理事会の承認を経て行われる。

ア令和8年2月23日（月）マスボクシング競技規則改定

No.	改定後	改定前
1	<p>第3条 ラウンドの時間と回数</p> <p>(1) 原則1分3R、各ラウンド間のインターバルは30秒とする。ただしラウンドの時間と回数については、競技会主催者が定めることもできる。</p>	<p>第3条 ラウンドの時間と回数</p> <p>(1) ラウンドの時間と回数については、競技会主催者が定める。</p>
2	<p>第4条採点採点は下記評価基準により、「10ポイントマストシステム」に基づいた採点システムで行われる。→「加点方式」を削除(1)採点基準②技術を伴わない前進や反則を誘発させるための前進、さらに、そのような前進によって相手にボクシングをさせない行為、または相手を威圧する行為は評価しない。</p>	<p>第4条 採点</p> <p>採点は下記評価基準により、「10ポイントマストシステム」か「加点方式」かを、また、ジャッジ人数を競技会主催者が定める。</p> <p>(1) 採点基準ジャッジは以下の条件により、両競技者の価値を競技規則に基づき自主的に判断する。</p> <p>①強弱に関わらず、相手への直接的な打撃は反則とし評価しない。</p> <p>②技術を伴わない前進や反則を誘発させるための前進は評価しない。</p> <p>③ターゲットエリアへの質の高い打撃の数（寸止め）</p>

3	<p>(2) 「10ポイント・マスト・システム」①5名以下の奇数のジャッジがリングサイドより採点をする⑤レフリーの警告があった場合、減点を加味して採点する。⑥競技の最終ラウンドのスコアカードに各ジャッジは、勝者と認める競技者を選択する。もしくは赤、青の旗揚げで勝者と認める競技者を表示する。</p>	<p>(2) 「10ポイント・マスト・システム」①3名か1名のジャッジがリングサイドより採点をする② ジャッジは各ラウンドの終了後、優勢な選手に10点、劣勢な選手に9点～8点の得点を与える。③ 得点は必ず優劣をつけなければならない。④ 得点の与え方・10-9 接近したラウンド採点の基準が両競技者ともほとんど同じ場合。・10-8 優勢に試合を進め勝者がはっきりわかるラウンド得点となるパンチの数が大きく違うこと。⑤競技の最終ラウンドのスコアカードに各ジャッジは、勝者と認める競技者を選択する。</p>
4	<p>[削除]</p>	<p>(3) 「加点方式」① 5名以下の奇数人数のジャッジがリングサイドより採点をする。② ジャッジが1名か3名の場合は、全ジャッジの得点の平均値が競技の判決になる。③ ジャッジが5名の場合は、それぞれのコーナーの最大値と最小値を省いた得点の平均値が競技の判決になる。④ 採点と同点の場合は、勝者を示したコーナーが多い競技者が勝者となる。</p>

<p>5 第6条 ファウル(2)技術を伴わない前進、または故意に打撃を受けに行くような前進。さらに、そのような前進によって相手にボクシングをさせない行為、または相手を威圧する行為。(3)グローブ同士の軽い接触以外は認めない。グローブに対しての故意での強い打撃(接触)については注意や警告が与えられる。(6)レフェリーは確認できなかった反則について、ジャッジに確認を行うことができる。その際の手順は以下のとおりとする。</p> <p>・「タイム」と宣言し、両選手をニュートラルコーナーへ戻す・各ジャッジ(5名)に対し、「反則/Foul」か「反則ではない/No Foul」かを確認する・各ジャッジは以下のいずれかで回答する「反則(Foul)」/「反則ではない(No Foul)」/「見えなかった(Did not see)」・判定は、「動作を確認できたジャッジの過半数」によって決定される。「見えなかった」と回答したジャッジの意見はカウントしない【判断例】・4人が「見えなかった」、1人が「反則」→反則と判定される・反則」と回答した1人が、確認できた中での過半数となるため・3人が「反則」、2人が「反則ではない」→反則と判定される※「反則」が過半数・数(3/5)で</p>	<p>第6条 ファウル(1)相手に打撃を与えてしまった場合や、その他の度重なるファウル、危険なファウルには注意や警告を与える。《警告による減点・10ポイントマストシステムの場合》・1回目…1点減点・2回目…1点減点・3回目…失格《警告による減点・加点方式の場合》・1回目…5点減点・2回目…5点減点・3回目…失格(2) 技術を伴わない前進及び、故意に打撃を受けに行くような前進。(3) 実戦競技に準ずる反則行為。(4) その他、レフェリーが危険と判断する行為。</p>
---	--

	<p>あるため・2人が「反則ではない」、2人が「反則」、1人が「見えなかった」→反則ではない ※「反則」2人 vs 「反則ではない」2人 → 同数のため、過半数が成立しない</p>	
6	<p>第7条 TD及びDTD(1)TD (テクニカルデリゲート)日本ボクシング連盟による任命を受け、日本連盟主催の大会においてすべてのテクニカル関連事項の全責任を担う。なお、国内大会においては、競技委員長がTDの責任を担う(2)DTD(デピュティーテクニカルデリゲート)①副TDとして競技の進行と各競技の責任を担う②DTDは、レフリーの位置や角度によってレフリーが視認できなかった相手への直接的な打撃や、その他のファウルについて、レフリーに進言することができる。</p>	<p>第7条に条文追加</p>
7	<p>第8条 レフリー(6)義務④レフリーは以下の3つのコマンド(命令語)を使用する。・ストップ:競技の中止を命じるとき。・ボックス:競技の続行を命じるとき。C10・タイム:競技の中止と、タイムキーパーに計時の停止を命じるとき。※レフリーは以上の3つのコマ</p>	<p>第7条 レフリー(6)義務④3つの命令語を用いる。・ストップ 競技の中止を命じるとき。・ボックス 競技の続行を命じるとき。・タイム 競技の中止とタイムキーパーに計時の停止を命じるとき。⑤競技者に対して、適切な合図や口頭による命令、または身振りを用いて反則を示す。</p>

	<p>ンド(命令後)の他に、状況に応じたコマンドを使用する。・離れて：選手間の距離が過度に近くなり、危険と判断した場合。・その距離をキープして：選手間の距離が適切であり、良好な攻防が継続している場合。・もう少し近づいて：選手間の距離が過度に離れており、ジャッジが行えないと判断した時。</p> <p>⑤聴覚に障がいのある競技者に配慮するため、レフリーは、競技を中断し競技者を退かせる必要がある場合や、反則を知らせる場合には、手で競技者の体に触れることができる。⑥判決が発表されたら勝者の片手をあげて表示する。(8)確認事項⑤レフリーは、ジャッジからファウルの進言があった場合、タイムをかけてその内容を確認する。／追記</p>	<p>⑥レフリーは競技を中断するためや競技者を離すため、または反則を知らせるために手で選手の体に触れてもよい。⑦判決が発表されたら勝者の片手をあげて表示する。</p>
8	<p>第9条 ジャッジ各試合は原則として5名以下の奇数人数で採点する。(1)競技中はレフリーや競技者や他のジャッジ、その他に話しかけることはできない。また、競技者及びセカンドとは競技前後にも会話や合図をしてはならない。(2)レフリーの位置や角度によってレフリーが視認できなかった相手への直接的な打撃や、その他のファウルについて、レフリーに進言することができる。(3)判決が</p>	<p>第8条 ジャッジ各試合は原則として5名以下の奇数人数で採点する。(1)競技中はレフリーや競技者や他のジャッジ、その他に話しかけることはできない。また、競技者及びセカンドとは競技前後にも会話や合図をしてはならない。</p> <p>(2)判決が公表されるまでは席を離れてはならない。</p>

	公表されるま+C12 では席を離れてはならない。	
9	第10条 審判資格	第9条 審判資格
10	第11条 ドクター	第10条 ドクター
11	第12条 タイムキーパーとゴングオペレーター	第11条 タイムキーパーとゴングオペレーター
12	第13条 セカンド(4)セカンドはグロービングチェック以降、連盟より配布されているセカンド資格ワッペンを左胸の見えやすい箇所に付けておくこと。	第12条 セカンド(4)セカンドはグロービングチェック以降、連盟より配布されているセカンド資格ワッペンを見えやすい箇所に付けておくこと。
13	第14条 リング	第13条 リング
14	第15条 リングの付属品	第14条 リングの付属品
15	第16条 マウスピース(2) [削除]	第15条 マウスピース(2) 赤色及び赤系統の色が含まれるマウスピースの使用は禁止する。
16	第17条 グローブ	第16条 グローブ
17	第18条 ヘッドガード (任意)(1)ヘッドガードを着用する場合は、競技者の頭部にしっかりと合った、状態の良い日本連盟検定品を使用しなくてはならない。(2)ヘッドガードを着用する場合は、競技者は赤または青のコーナー色のヘッドガードを着用しなくてはならない。(3)競技会主催者または開催地は、赤・青それぞれ十分な数のヘッドガードの予備を用意しておく。(4)ヘッドガードを着用しな	第17条 ヘッドガード(1)ヘッドガードは競技者の頭部にしっかりと合った、状態の良い日本連盟検定品を使用しなくてはならない。(2)競技者は赤または青のコーナー色のヘッドガードを着用しなくてはならない。(3)競技会主催者または開催地は、赤・青それぞれ十分な数のヘッドガードの予備を用意しておく。

	い場合において、前髪等が視界や競技の妨げになる場合、または頭髪が長く対戦相手に接触するおそれがある場合は、無地の白・黒・ベージュのヘアゴムまたはヘアバンド等を使用して、髪をまとめなければならない。ヘアピンの使用は不可とする。(5)ヘアピンの使用は不可とする。	
18	第19条 バンテージ	第18条 バンテージ
19	第20条 スポーツエントリーズチェック	第19条 スポーツエントリーズチェック
20	第23条 競技者の服装(1) (公社)日本ボクシング連盟競技規則第30条「競技者の服装」に準ずる。①膝にかからない長さのトランクス、スカート、胸と背中を覆う袖のないランニングシャツ(ノースリーブを含む)を着用して競技する。ただし、ランニング下にTシャツの着用も可とする。(6) [削除] (6) [新たな条文を追加] 競技者は金属を使用していないサポーターやテーピングを使用することができる。色は白、黒、ベージュとする。	第23条 競技者の服装(1) (公社)日本ボクシング連盟競技規則第30条「競技者の服装」に準ずる。①膝にかからない長さのトランクス、胸と背中を覆う袖のないランニングシャツ(ノースリーブを含む)を着用して競技する。ただし、ランニング下にTシャツの着用も可とする。(6) 長髪の競技者においては、スイミングキャップかヘアゴムを使用して髪を束ねて、ヘッドガードから髪が出ないようにしなければならない。

令和8年3月26日理事会 競技規則改定

N O	項目	改定後	改定前

1	前文に 追記 (赤色)	<p>国内の公益社団法人日本ボクシング連盟（以下日本連盟）の管理するボクシング競技は、全て本規程を適用し、ワールドボクシングコンペティションルール（IF規則）を準用する。国内で開催される競技会は、全てこの競技規則に従って実施しなくてはならない。第2条医学的適格性に抵触せず、安全性の低下がなければ、ルールの根本を崩さない範囲での変更は認められる。また、マスボクシング競技等では別に規程をもうける。</p> <p><u>なお、選手の医学的適格性や医事に係る項目、およびドクター（リングドクター等）に関する詳細な規程については、別途定める「医事ハンドブック」において規定する。</u></p>	<p>国内の公益社団法人日本ボクシング連盟（以下日本連盟）の管理するボクシング競技は、全て本規程を適用し、ワールドボクシングコンペティションルール（IF規則）を準用する。国内で開催される競技会は、全てこの競技規則に従って実施しなくてはならない。第2条医学的適格性に抵触せず、安全性の低下がなければ、ルールの根本を崩さない範囲での変更は認められる。また、マスボクシング競技等では別に規程をもうける。</p>
2	競技規則全文 記載	打撃	得点打撃

3	巻末資料	<u>巻末資料</u> <u>別紙1 証明書 (MRI または CT)</u> <u>別紙2 競技会用健康申告書</u> <u>別紙3 競技 (出場) 停止書類 (頭部外傷・脳振盪)</u> <u>別紙4 競技 (出場) 停止書類 (頭部外傷以外)</u> <u>別紙5 脳振盪段階的復帰プログラム</u> <u>別紙6 登録変更届</u> <u>別紙7 重症頭部外傷等の報告義務に関する同意書</u> <u>別紙8 競技会以外での頭部外傷・脳振盪報告書</u> <u>別紙9 歯列矯正証明書付図A 出場人数競技数</u> <u>付図B 抽選番号 (トーナメント 14 人の例)</u> <u>付図C FOP</u>	<u>巻末資料</u> <u>別紙1～3 証明書 (CT)</u> <u>別紙4 健康申告書</u> <u>別紙5～6 競技停止書類</u> <u>別紙7 脳振盪段階的復帰プログラム</u> <u>別紙8 登録変更届</u> <u>付図A 出場人数競技数</u> <u>付図B 抽選番号 (トーナメント 14 人の例) 付図C FOP</u>
---	-------------	---	--

<p>第2条 登録及び報告の義務と適格性</p> <p>2 健診について</p> <p>(2)</p>	<p>(2) スパーリング等の打撃を伴う練習開始前(初期健診)にMRI検査(推奨)(閉所恐怖症の場合等は代替手段としてCT検査を認める)にて頭蓋内病変等が無く、ボクシング競技に支障がないことが証明されなければならない。また、実践競技引退後5年以上経過した場合と35歳以上の競技者は、MRI(必須)により再度頭部の検査を受け、競技に支障がないことが証明されなければならない。(別紙1・2)また、くも膜のう胞があり競技を希望する競技者は、日本連盟医事委員の審査と許可を受けなければならない。(別紙3)</p> <p>※事故防止のため、MRI検査(あるいはCT検査)はスパーリング等の打撃を伴う練習開始前に済ませ、その後の練習や事故で頭部へのダメージがある場合にも再度MRI検査(あるいはCT検査)を行い、指導者が競技(出場)停止書類(頭部外傷・脳振盪)別紙5を都道府県を通して、ブロック医事委員長へ必ず提出する。</p> <p>検査の結果、急性硬膜下血腫など、頭蓋内病変が認められた場合は以後の競技参加</p>	<p>(2) 実戦競技の開始スパーリング等の打撃を伴う練習開始前(初期健診)にMRI検査(推奨)(中学生未満で閉所恐怖症の場合等は代替手段としてCT検査を認める)にて頭蓋内病変等が無く、ボクシング競技に支障がないことが証明されなければならない。また、実践競技引退後5年以上経過した場合と35歳以上の競技者は、MRI(必須)により再度頭部の検査を受け、競技に支障がないことが証明されなければならない。(別紙1・2)また、くも膜のう胞があり競技を希望する競技者は、日本連盟医事委員の審査と許可を受けなければならない。(別紙3) ※事故防止のため、MRI検査(あるいはCT検査)はスパーリング等の打撃を伴う練習開始前に済ませ、その後の練習や事故で頭部へのダメージがある場合にも再度MRI検査を行い、指導者が競技(出場)停止書類(頭部外傷・脳振盪)別紙5を都道府県を通して、ブロック医事委員長へ必ず提出する。検査の結果、急性硬膜下血腫など、頭蓋内病変が認められた場合は以後の競技参加をすることはできない。ス</p>
---	---	---

		<p>をすることはできない。スパーリングを行う場合は必ず指導者がレフリーをするか監督し、強打を不必要に受けないように管理せねばならない。</p>	<p>パーリングを行う場合は必ず指導者がレフリーをするか監督し、強打を不必要に受けないように管理せねばならない。</p>
3	<p>第 1 1 条 NTO (5)</p>	<p><u>(5) 選手、コーチ、チーム関係者および観客からの判定に対する抗議は一切認められない。ただし、競技委員長</u> <u>(TD/DTD) は、レフリーの裁定が競技規則に違反、または不適切であると確信した場合に限り、是正を指示できる。この</u> <u>疑義に関する確認会議は、当該セッション終了時までに執り行い判決を決定する。なお、ジャッジによって確定した採点結果については、いかなる理由があつて</u></p>	<p>(5) TD (DTD) はレフリーの判断が不適切な場合、必要であれば訂正を指示することができる。ジャッジの採点結果はどんな場合でも覆すことはできない。なお、チームや観客からの抗議は一切受け付けない。</p>

		<u>もこれを覆すことはできない。</u>	
--	--	-----------------------	--

3) 審判員及び指導者（コーチ）の資格認定

(1)公認審判員・ブロック NTO の認定

公平かつ安全に競技をできる環境を整備し選手が安心して競技に参加することができるように、国内競技大会の審判員・ブロック NTO の資格試験を実施しその認定を行っている。本事業は理事会の承認をうけて制定された「規程について」に基づいて実施される。

ア日本連盟主催 A 審判員講習会 令和 7 年 7 月 28 日(月)～8 月 1 日(金)実施

日本連盟主催 公認 A 審判員講習会・試験

審判受講・合格者 A 級 3 名

イ令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

ブロック連盟主催 公認 B 級審判員認定者 26 名

都道府県連盟主催 公認 C 級審判員認定者 69 名

(2)セカンドの認定

選手が安全に競技を実施できるように、国内競技大会のセカンドの資格試験を実施しその認定を行っている。本事業は理事会の承認を受けて制定改訂された「公認セカンド制度に関する規定」に基づいて実施される。

ア令和 7 年 12 月 10 日(水)～12 月 14 日(日)

JSP0 ボクシングコーチ 3(公認コーチ) 15 名

イ令和 7 年 9 月 6 日(土)・令和 8 年 1 月 31 日(土)の 2 回実施

日本連盟主催 公認 A セカンド講習会・試験

A級セカンド取得者 49名

令和7年4月1日～令和8年3月31日

ブロック連盟主催 B級セカンド取得者 60名

都道府県連盟主催 C級セカンド取得者 323名

4) 講習会の開催

以下全国大会に於いて、大会開催直前に審判員・NTOには審判セミナー、セカンドにはインテグリティ研修を実施している。

ア全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和7年7月28日(月)

実施場所：玉野市総合体育館(レクレセンター)

イ全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月3日(月)

実施場所：兵庫県立武道館

ウ全日本大学ボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月4日(月)

実施場所：兵庫県立武道館

エ国民スポーツ大会

実施日：2025年9月29日(月)

実施場所：東近江市能登川アリーナ

オ全日本マスボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月1日(土)

実施場所：安八町総合体育館

カ全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月25日（火）

実施場所：ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）

キ全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日（水）

実施場所：西尾市総合体育館

ク全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日（水）

実施場所：西尾市総合体育館

ケコンプライアンス・インテグリティ研修オンライン開催

実施日：令和8年2月20日（金）

実施場所：オンライン

コ全国高校選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

実施日：令和8年3月24日（火）

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

サ全日本UJフレッシュボクシング大会

実施日：令和8年3月24日（火）

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

5) アマチュアボクシングの安全確保、健康管理等の実施

ボクシングの競技の性質上安全確保健康管理は、アマチュアボクシングの普及及び振興を図るための根幹を担う分野であることから、選手が安全にボクシング競技を行える環境を整備している。医師等が所属する医事委員会を中心として、「競技規則」の中の安全確保・健康管理に関する部分の策定、「医事ハンドブック」の作成を行っている。

以下全国大会に於いて、医師を3名以上配置し安全確保、健康管理等の実施している。

ア全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和7年7月28日(月)～8月3日(日)

実施場所：玉野市総合体育館(レクレセンター)

イ全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月3日(月)～5日(火)

実施場所：兵庫県立武道館

ウ全日本大学ボクシング王座決定戦

実施日：令和7年8月4日(月)

実施場所：兵庫県立武道館

エ国民スポーツ大会

実施日：2025年9月29日(月)～10月3日(金)

実施場所：東近江市能登川アリーナ

オ全日本マスボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月1日(土)～3日(月・祝日)

実施場所：安八町総合体育館

カ全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和7年11月25日(火)～11月30日(日)

実施場所：ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）

サ全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日(水)～12月21日(日)

実施場所：西尾市総合体育館

シ全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和7年12月17日(水)～12月21日(日)

実施場所：西尾市総合体育館

ス全国高校選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

実施日：令和8年3月24日（火）～29日（日）

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

セ全日本UJフレッシュボクシング大会

実施日：令和8年3月24日（火）～28日（土）

実施場所：小瀬スポーツ公園 武道館

6) 競技用品販売店の指定

競技の安全と公平性を図るために、競技規則において競技会で使用できるグローブ、ヘッドガード、リングについては所定の検定を受けた公認グローブ、公認ヘッドガード、公認リング（以下「競技用品」という）に限られている。公認の競技用品の品質を担保するために、競技用品を検定する能力を有する販売店を当法人が指定している。

競技用品の指定は「競技用品販売店審査会規程」に基づいて競技用品販売店審査会にて行う。競技用品審査会は競技用品販売店選考基準案にもとづいて競技用品販売店の審査し指定を行う。指定を受けた競技用品販売店は当法人の指導のもとに競技用品の検定を行い、検定を経た競技用品を販売する。

アリング検定実績

令和7年4月広島修道大学 1基

令和7年4月岡山県 1基

令和7年4月自衛隊体育学校 1期

イグローブ・ヘッドガード検定実績

株式会社ウイニング グローブ 1157組・ヘッドガード 656個

株式会社リュウジン(アディダス製) グローブ 15組・ヘッドガード 45個

BoxElite(スティング製) グローブ 35組・ヘッドガード 27個

4 選手強化事業

1) 選手の強化・育成

アマチュアボクシング選手の競技力の向上を図るために、選手のための強化合宿を実施している。専門委員会のうちの強化委員会が担っている。強化委員会は選手強化合宿の企画立案実行をしている。合宿参加選手は、「選手選考規程」「選手選考基準」に基づいて選考される。「選手選考基準」に基づいて、強化委員会が候補者リストを作成し、選考委員にて選考をし、理事会で承認をすることで合宿参加選手が決定する。

選考委員は、「選手選考規程」に基づいて、理事会により選任される。

国内強化合宿

ア日本・シンガポール合同合宿

合宿期間 令和7年10月4日(土)～10月15日(水)

場所 東京都・味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 シンガポール 選手5名 役員2名・日本 選手0名 役員1名

イ 2025 Next Generation Boxing Academy – Summer Camp –

合宿期間 令和7年7月22日(火)～7月26日(土)

場所 神奈川県立スポーツセンター

派遣者 選手40名 役員10名

ウ日豪韓合同ジュニア・ユース強化合宿

合宿期間 令和7年12月7日(日)～12月14日(日)

場所 東京都・味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 日本 選手45名 役員20名・豪州 選手16名 役員5名・韓国 選手15名 役員4名

エ 2025 Next Generation Boxing Academy – Winter Camp –

合宿期間 令和7年12月24日(水)～12月28日(日)

場所 岐阜県・岐阜市

派遣者 選手 38 名 役員 13 名

オ次世代アスリート強化合宿

合宿期間 令和 8 年 2 月 20 日(金)～2 月 23 日(月)

場所 東京都・味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 選手 30 名 役員 11 名

カ 2025NextGenerationBoxingAcademy－IntercollegiateCamp－

派遣期間 令和 8 年 3 月 13 日(金)～2026 年 3 月 15 日(日)

場所 東京都・味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 選手 18 名 役員 10 名

2) オリンピック競技大会等の国際競技大会への代表参加者の派遣

オリンピックをはじめとするアマチュアボクシングの国際競技大会へ日本代表選手の選考・

派遣を行っている。国際大会派遣選手は、「選手選考規程」「選手選考基準」に基づいて選考される。

「選手選考基準」に基づいて、強化委員会が候補者リストを作成し、選考委員にて選考をし、理事会で承認をすることで国際大会派遣選手が決定する。選考委員は、「選手選考規程」に基づいて、理事会により選任される。

ア Asian Boxing U15&U17 選手権大会

派遣期間 令和 7 年 4 月 16 日 (水)～5 月 2 日 (金)

場所 ヨルダン・アンマン

派遣者 選手 8 名・役員 7 名

主な結果 金メダル 1 個・銀メダル 1 個・銅メダル 2 個

イタイオープン ボクシング選手権大会

派遣期間 令和 7 年 5 月 22 日(木)～6 月 2 日(月)

場所 タイ・バンコク

派遣者 選手 10 名・役員 5 名

主な結果 銀メダル 1 個・銅メダル 1 個

ウワールドボクシングチャレンジグランプリ ウースチーナド ラベム 2025

派遣期間 和 7 年 6 月 11 日(水)～6 月 14 日(土)

場所 チェコ共和国 ZIMIN STADION - WINTER STADIUM

派遣者 選手 10 名・役員 4 名

主な結果 金メダル 3 個・銀メダル 3 個・銅メダル 2 個

エワールドボクシングカップアスタナ 2025

派遣期間 令和 7 年 6 月 28 日(土)～7 月 7 日(月)

場所 カザフスタン共和国・アスタナ市

派遣者 選手 10 名・役員 5 名

主な結果 銀メダル 1 個・銅メダル 2 個

オ ASIAN BOXING U19&U22 チャンピオンシップス バンコク 2025

派遣期間 令和 7 年 7 月 30 日 (水) ～ 8 月 12 日 (火)

場所 タイ・バンコク

派遣者 選手 16 名・役員 7 名

主な結果 金メダル 2 個・銅メダル 3 個

カワールドボクシングカップ リバプール 2025

派遣期間 令和 7 年 8 月 29 日(金)～9 月 16 日(火)

場所 イギリス・リバプール

派遣者 選手 12 名・役員 9 名

主な成績 銀メダル 1 個・銅メダル 2 個・5 位入賞 4 名

キ第 3 回アジアユースゲームズ

派遣期間 令和 7 年 10 月 20 日 (月) ～11 月 3 日 (月)

場所 バーレーン王国 / BHHARAIN WORLD EXHIBITION

派遣者 選手 8 名・役員 7 名

主な結果 銀メダル 1 個・銅メダル 2 個

ク WB カップファイナルズニューデリー

派遣期間 令和 7 年 12 月 15 日(土)～12 月 21 日(金)

場所 インド・ニューデリー市

派遣者 選手 6 名・役員 6 名

主な結果 金メダル 1 個・銀メダル 1 個・銅メダル 2 個・5 位入賞 2 名

ケ U19 ワールドボクシングフューチャーズカップバンコク 2026

派遣期間 令和 8 年 3 月 5 日(木)～3 月 16 日(月)

場所 タイ・バンコク

派遣者 選手 10 名・役員 7 名

主な成績 金メダル 1 個・銀メダル 1 個・銅メダル 1 個

コ アジアンボクシング選手権大会 2026

派遣期間 令和 8 年 3 月 30 日(月)～4 月 10 日(金)

場所 モンゴル・ウランバートル

派遣者 選手・役員 6 名

主な成績 金メダル 1 個・銀メダル 1 個・銅メダル 2 個

3) アマチュアボクシングに関する調査研究

強化委員会を中心として①世界各国の競技力の調査と研究②競技力向上に関する技術の研究を行っている。国内のボクシング技術の向上に寄与することを目的として、国際大会への参加/海外合宿参加をしたメンバーが海外で経験した/収集したボクシング技術について帰国後に情報共有を行っている。

海外派遣事業帰国後、強化委員会を中心として、報告書をまとめ提出している。

ア Asian Boxing U15&U17 選手権大会

派遣期間 令和7年4月16日(水)～5月2日(金)

場所 ヨルダン・アンマン

イタイオープン ボクシング選手権大会

派遣期間 令和7年5月22日(木)～6月2日(月)

場所 タイ・バンコク

ウワールドボクシングチャレンジグランプリ ウースチーナド ラベム 2025

派遣期間 和7年6月11日(水)～6月14日(土)

場所 チェコ共和国 ZIMIN STADION - WINTER STADIUM

エワールドボクシングカップアスタナ 2025

派遣期間 令和7年6月28日(土)～7月7日(月)

場所 カザフスタン共和国・アスタナ市

オ ASIAN BOXING U19&U22 チャンピオンシップス バンコク 2025

派遣期間 令和7年7月30日(水)～8月12日(火)

場所 タイ・バンコク

カ台北カップ ボクシング選手権大会

派遣期間 令和7年8月18日(月)～22日(金)

場所 台湾・台北市

カワールドボクシングカップ リバプール 2025

派遣期間 令和7年8月29日(金)～9月16日(火)

場所 イギリス・リバプール

キ第3回アジアユースゲームズ

派遣期間 令和7年10月20日(月)～11月3日(月)

場所 バーレーン王国 / BHHARAIN WORLD EXHIBITION

ク WB カップファイナルズニューデリー

派遣期間 令和7年12月15日(土)～12月21日(金)

場所 インド・ニューデリー市

ケ U19 ワールドボクシングフューチャーズカップバンコク 2026

派遣期間 令和8年3月5日(木)～3月16日(月)

場所 タイ・バンコク

コアジアンボクシング選手権大会 2026

派遣期間 令和8年3月30日(月)～4月10日(金)

場所 モンゴル・ウランバートル

4) 国際審判員及び指導者(コーチ)の育成

日本国内におけるアマチュアボクシングの普及及び振興にあたっては、世界的なアマチュアボクシングの組織への協力・国際大会への協力が重要である。現在日本人で国際競技大会の審判(レフェリージャッジ)等に携われる人は非常に少ないため、国際審判員及び指導者(コーチ)の育成に取り組んでいる。

強化委員会と審判部が中心となって、積極的に海外の資格取得試験を受けてもらうための情報提供、資格取得までのスケジュール管理等のサポートを行っている。また必要に応じてIBAインストラクターを日本に来てもらい国内で資格試験を実施する企画もある。またすでに国際審判員としての資格を持っている者については資格継続のサポートを行っている。

アアジアンボクシング U15 & U17 ボクシング選手権大会 2025

派遣期間 令和7年4月16日(土)～5月2日(金)

場所 ヨルダンアンマン

派遣者 国際審判員 R&J 1名

イタイオープンボクシング選手権大会

派遣期間 令和7年5月22日(木)～6月2日(月)

場所 タイ・バンコク

派遣者 国際審判員 R&J 1名

ウワールドボクシングカップアスタナ 2025

派遣期間 令和7年6月28日(土)～7月7日(月)

場所 カザフスタン共和国・アスタナ市

派遣者 国際審判員 R&J 1名

エ 2025 Taipei City Cup Boxing Invitation Tournament

派遣期間 令和7年8月18日～8月21日

場所 台湾・台北市

派遣者 国際審判員 R&J 2名

オワールドボクシングカップ リバプール2025

派遣期間 令和7年8月29日(金)～9月16日(火)

場所 イギリス・リバプール

派遣者 国際審判員 R&J 2名

カ第3回アジアユースゲームズ

派遣期間 令和7年10月20日(月)～11月3日(月)

場所 バーレーン王国 / BHHARAIN WORLD EXHIBITION

派遣者 国際審判員 R&J 1名

キ U19 ワールドボクシングフューチャーズカップバンコク 2026

派遣期間 令和8年3月5日(木)～3月16日(月)

場所 タイ・バンコク

派遣者 国際審判員 R&J 2名

クアジアンボクシング選手権大会 2026

派遣期間 令和8年3月30日～4月10日

場所 モンゴル・ウランバートル

派遣者 国際審判員 R&J 1 名

5 関係スポーツ団体への加盟及び協力

アマチュアボクシング競技の基盤整備のために、我が国のアマチュアボクシング団体を代表する団体として日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、アジアボクシング連盟、国際ボクシング協会に加盟をしている。

1) アジアンボクシング (AF) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和7年5月31日(土)～6月2日(月)

場所 タイ・バンコク

2) WORLD BOXING (I F) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和7年6月26日(木)～7月8日(火)

場所 カザフスタン・アスタナ

3) アジアンボクシング (AF) 総会

派遣期間 令和7年7月31日(木)～8月3日(日)

場所 タイ・バンコク

4) WORLD BOXING (I F) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和7年9月12日(金)～9月16日(火)

場所 イギリス・リバプール

5) アジアンボクシング (AF) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和7年10月26日(日)～10月28日(火)

場所 バーレーン王国 / BHRAIN WORLD EXHIBITION

6) WORLD BOXING (I F) 総会

派遣期間 令和7年11月21日(金)～11月25日(火)

場所 イタリア・ローマ

7)WORLD BOXING (I F) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和7年12月21日(日)～12月25日(木)

場所 インド・ニューデリー市

8)WORLD BOXING (I F) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和8年3月14日(土)～3月16日(月)

場所 タイ・バンコク

9)アジアンボクシング (AF) 理事等との会議と大会視察

派遣期間 令和8年2026年3月29日(日)～2026年3月31日(火)

場所 モンゴル・ウランバートル

6 アマチュア規定の制定及びアマチュア資格認定

プロ経験者のアマチュア復帰によりアマチュアボクシングの競技力向上等を図るために、「アマチュア規則」「アマチュア転向・復帰規定」に基づいてプロからの復帰の承認を行っている。「アマチュア規則」「アマチュア転向・復帰規定」は理事会の承認を経て制定・改定を行う。

13名のプロ経験者がアマチュア復帰を申請し承認された。

7 法人の運営体制の充実を図るための取組

1)公益法人の機関別（理事会・監事）における具体的取組

日常的にメッセージングアプリ LINE を使用し情報提供を行っている。理事会を2か月に1度程度の頻度で開催し、審議決議事項や報告事項を説明、意見聴取等を丁寧に行っている。また、メッセージングアプリ LINE を活用し書面決議での審議・決議も行っており、全会一致での決議にならない場合は理事会を開催し審議を深めている。また、監事はメッセージングアプリ LINE グループに加盟し情報のやり取りを見ながら適宜意見を述べている。

2)不祥事の子防・発見・事後対応の仕組み

事務局に届く電話やメールへ届く不祥事に繋がりそうな案件を倫理・審査委員会やコンプライアンス委員会に取次ぎ適宜予防・派遣事故対応に取り組んでいる。また、公益通報相談窓口を設け本連盟顧問弁護士が窓口となり受付、第三者的として意見聴取を行い法的に対応を行っている。

3)社会的課題の解決に向けた事業の効果に係る定性的・定量的測定

ア WORLD BOXING が他の競技に先立ち SRY 遺伝子検査を実施したことに対し、迅速に国立スポーツ科学センターと連携し検査を行い他の競技との比較も含め情報収集を行っている。

イ（プロ）ボクシング競技での死亡事故やアマチュア競技の練習中での事故などの対策として、医療体制の充実が喫緊の課題である。本連盟は東京科学大学に協力要請を行い、組織連携のための契約締結を行なった。今後は、事故発生時の迅速の対応のみならず、事故予防につながるような科学的なアプローチを行うための共同研究なども行い、ボクシングを科学・学問として捉える様にしていく。

8 公益法人内部における規範

1)外部理事・監事にどのような者を選任したか、外部理事・監事の役割を全うするためにどの様に情報提供等を行っているかについて

役員選任について、全国から推薦者を募集し正会員・監事・コンプライアンス委員会委員長、他競技理事、JOC 理事のそれぞれ 1 名の計 5 名で選考委員会を設け役員選考を行っている。推薦者からは活動に寄与するためのマニフェストの提出を求めており、そのマニフェストに応じて選任の参考にしている。

また、外部理事・監事の役割を全うするために、メッセージングアプリ LINE を使用し常に情報交換を行い外部の役員ならではの意見や情報を内部の役員に提供していただき、幅広い視野の元組織運営を行っている。

2)ガバナンス体制の充実を図るための取組

JOC ガバナンスコードにある適合性審査項目 43 項目を元に、役員や各委員会や地方に対し、連盟としての向かう方向としての説明を丁寧に行っている。また、定期的に全国の登録者に向けてイ

ンテグリティ研修を行っており、ガバナンスコードに添った組織運営の理解と協力を求めている。

3)規程類整備計画とそれに沿った整備

組織内の現状に添わない規程に関しては、必要に応じて規程変更を理事会で審議し変更して行っている。

4)ガバナンスコードに付随するセルフチェックリストの作成、運用

ガバナンスコード適合審査項目に適合するような組織作りを行っており、常に運用している状況にある。

5)社外弁護士を窓口とする内部通報窓口の設置と周知・就業規則への記載、保護体制

顧問弁護士と契約をし、連盟 HP に公益通報窓口を設けている。また、本連盟へのメールや電話での問い合わせに対して、通報窓口の案内をしたり、連盟 HP の目立つ個所に通報窓口への案内を掲示している。

6)スキルマトリックスによるバランスのとれた理事会構成確保

役員改選時、推薦者の方にマニフェストを提出いただき、自身が連盟へ貢献できることを申告いただく方法をとっている。これにより各役員のスキルを把握して適正なバランスのとれた候補を、選考委員会で選任するようにしている。

7)利益相反取引のチェック体制

利益相反の疑いがある時、倫理・資格審査委員会や、その委員である顧問弁護士に相談し利益相反状態にないかのチェックをするようにしている。

8)外部専門家からの積極的助言を得て業務執行の実効性担保

理事会やメッセージングアプリ LINE グループや個々のやり取りの中で、外部専門家からの助言について、各委員会や理事会に働きかけながら必要部分審議行い制度化への取り組みを行う状況は担保できている。

9)理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

理事の職務の執行にかかわる情報については、事務局で一括管理を行い必要に応じて適宜保存や提供を行っている。

10)損失の危険の管理に関する規程その他の体制

利益相反規程、利益相反ポリシー、危機管理規程等を運用し規程に添った運用を行っている。

11)理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

本連盟の役員報酬は無償で理事はボランティアで職務をに担っている。基本的に、職務は理事が担当する各委員会の業務が主となるが、必要事案が生じた場合、委員会で意見を集めとりまとめ、理事会で審議決議を行っている。組織形態としては効率的に運用が行われている。

12)監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

現状の組織的に、監事が補助すべく使用人を置くことを求めることは考えにくいですが、使用人ではなく、事務局スタッフが適宜資料の提供や詳しい説明や必要書類の原案作成を担っている。

13)理事及び使用人が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制

理事及び事務局スタッフが報告書を作成し報告会を設けて説明を行っている。

9 附属明細書

2025 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないのでこれを作成しません。